

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	高級レストラン（企画）	・大阪の緊急事態宣言の解除後、地域観光支援事業やGo To Travelキャンペーンの再開により、来客数や客単価が回復する見通しである。
	○	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・ワクチンを接種した人が積極的に外出し始めているため、今後の接種の増加に伴い、人の動きが増えてくると予想している。
	○	百貨店（売場主任）	・現在は電話注文が多く、来店を避ける動きがある。新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、自由に行動できるようになれば、これまでの反動でリベンジ消費が始まる。
	○	百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、従来の方法だけでは対応できない状況となっている。また年末のボーナス商戦は、ボーナスの支給自体に不安があり、消費は若干改善されることはあっても、活発になるとは思えない。経済の活性化には、新型コロナウイルスの感染収束が不可欠であり、まだしばらくは時間を要すると予想される。
	○	百貨店（販促担当）	・ワクチン接種率の拡大で、8～9月がコロナ禍による影響のピークと予想され、街への人出の回復も期待される。長らく我慢が続くなか、年末には少し自分への御褒美消費が出てくる。外出の自粛が続く場合も、少しぜいたくな自宅でのクリスマスなど、消費意欲は今よりも高まると予想される。
	○	百貨店（マネージャー）	・ワクチン接種が若い世代にも進み、3か月後には新型コロナウイルスの感染も収まってくる。ただし、本格的な回復にはまだ時間が掛かる。
	○	百貨店（外商担当）	・ワクチン接種の増加による効果や、新型コロナウイルスの感染者数のピークアウトを前提に、今年の9～10月はイベントや催事など、富裕層に向けた販売促進活動を実施する予定である。
	○	スーパー（店員）	・秋はイベントが多いため、売上の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言が解除されれば、来客数も少し増える。
	○	住関連専門店（店長）	・今夏からは、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ているか否かにかかわらず、お金を使う人は使い始めている。ただし、客単価は上がっている一方、相変わらず来客数や売上は減ったままで、以前の動きには程遠い。消費者の間に、二極化の動きが出てきたのではないかと懸念している。
	○	一般レストラン（経営者）	・飲食店はアルコールを出さなければ、やはり営業が厳しい。アルコールの提供禁止が解除されれば、来客数は増える。
	○	都市型ホテル（販売促進担当）	・正直なところ分からないが、ある程度は新型コロナウイルスの感染者数やワクチン接種数の影響を受ける。宿泊の予約では、9月は少し入っているが、10月以降は直近にならなければ分からない。ただし、ワクチン接種数が増えれば、景気も良くなるという期待はある。
	○	旅行代理店（店長）	・ワクチン接種が進み、新型コロナウイルスの感染者数が減ってくれば、需要が戻ってくると期待したい。
	○	旅行代理店（役員）	・ワクチン接種の加速による、新型コロナウイルスの感染ステージの改善という他力本願しかない。県民割がスタートする予定で期待しているが、いつになるかは分からず、客も動きにくい状況である。
	○	通信会社（社員）	・地方における働き方のスタイルも徐々に変化し、今後もインターネット接続サービスに関する需要は伸びていく。
	○	観光名所（経理担当）	・11月頃には、若い世代でもかなりの割合の希望者が、ワクチンを2回接種していると予想される。
	○	ゴルフ場（支配人）	・ワクチン接種率が上昇すれば、集団免疫の観点から、新型コロナウイルスの感染の急拡大が止まる。社会全体がコロナ禍前の状態に近づけば、来客数は増加すると予想している。
	○	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・ワクチン接種の進行でやや良くなる。
	○	住宅販売会社（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、徐々にコロナ禍以前の状態に戻っていくと予想している。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続くと考えられる。必要な物しか買わない傾向が顕著である。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束して、通常の営業ができない限り、小売業の回復は困難である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔時計〕（経営者）	・最近ではワクチンについて心配になるニュースが増えている。楽観的になれる材料がほとんどない状況で、今後は時計が一部で値上げになるとの話も、メーカーから出てきている。この数か月で時計以外の物も値上がりするなか、現状維持が精一杯であり、先行きが良くなる見通しはない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に変われば、状況は少し良くなる。その一方、緊急事態宣言が継続となれば、変わらないか、やや悪くなる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔家具〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、今後どうなるかが不安である。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔野菜〕（店長）	・3か月後に落ち着いているとは思えず、ますます悪くなっている可能性もあるため、期待できない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・コロナ禍が落ち着かなければ、先行きには一向に期待できない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・ワクチンの接種が進めば、新型コロナウイルスの感染が抑えられ、客の来店も増えることが期待される。ただし、仮にそうだったとしても、消費が以前のような水準に戻るには時間が掛かる。特に、ファッション関連や雑貨は、商品の生産が大幅に抑えられているため、数か月で回復するとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・今後も新型コロナウイルスの感染者数に連動し、当分の間は一進一退の動きが続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	・若年層やその家族に対する、新型コロナウイルスの感染は収まらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	・ワクチン接種が進んでも、現在のように新型コロナウイルスの感染者数で一喜一憂する状況が続くようであれば、情勢としては何も変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・ワクチン接種が進み、40代以下の新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、景気も回復するが、全く見通しは立たない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（サービス担当）	・現状は新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にある。緊急事態宣言が来月も継続し、食料品フロアなどへの来客数の制限が強化されれば、売上の確保も難しくなるが、傾向として大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・ワクチンの接種は進むが、新型コロナウイルス変異株の感染力は強く、現状から回復基調になるとは考えにくい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場マネージャー）	・ワクチンの接種が進む中でも、新型コロナウイルスの感染が拡大している。当社の商圏内の感染率も上がってきており、厳しい状況が当分続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・全体的なワクチン接種の進展で一定の効果が見込まれるものの、大きな改善効果は期待できない。緊急事態宣言などの解除の見通しが立たないなか、人流抑制策などによる影響に振り回される状況が続く。また、それらへの慣れによる購買活動も散見されるため、全体としては小康状態が続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・ワクチン接種率がもっと上がってくれば、新型コロナウイルスの感染者数は徐々に減るが、その予想を裏付ける物が何もない。今は不安をあおっているだけなので、良くなる要素はない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（特選品担当）	・正直なところ、全く分からない。社会情勢の回復が全く見通せず、緊急事態宣言の再延長も噂されている。このような状態で景気が回復するとは思えない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・以前は季節商材を中心に、緊急事態宣言の解除後のペントアップ需要を期待していたが、ここまで自粛期間が長くなると、百貨店の店頭で買物をしないことが当たり前になっている。今後も、入店の動きが回復しないのではないかと予想している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・ワクチン接種は進むが、医療体制が大幅に改善するまでは外食需要は盛り上がりせず、その分スーパーでの買物が続くと予想される。ただし、今後は原料価格の高騰による商品の値上げが相次ぐため、それが重しになりそうである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・コロナ禍が収束するまでは、今の状況が続くと予想される。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ワクチン接種は進んでいるものの、新型コロナウイルスの感染者数は増えている状況で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの解除はなさそうである。それに伴い、買物や飲食、旅行などを控える人は今後も多いと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・コロナ禍の影響は今後も続き、消費者の購買動向にも変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・急に新型コロナウイルスの感染者数が増えたように感じる。従業員にも感染者が出ており、正直なところ怖い。長雨で野菜の値段が上がっている一方、感染者数も減らないため、この先良くなるとは思えない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・現状は高止まりしている新型コロナウイルスの感染者数も、ワクチン接種者が増えることで、徐々に減る。今後、外食の制限が緩和されれば、家庭での内食需要も弱まり、売上に影響が出てくる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・ワクチン接種が進み、社会活動が活発化することによって内食需要は少し減少するが、経済の活性化が進む好影響の方が大きい。消費者の心理に対しては、新型コロナウイルスの感染者数の減少も大きな要素となる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、感染収束の傾向はみられず、現状がしばらく続くと思われ。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・ワクチン接種率は余り上がらず、客の様子を見ても、一度に多く購入して来店回数を減らしている。景気が良くなるどころではない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（社員）	・コロナ禍の拡大が続くなか、外食需要を取り込むことで食品部門は好調が続いており、当面は売上の増加が続く。同業他社の状況を見ても、当社よりも売上が伸びている会社が多く、客の消費は堅調に推移すると予想している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・早くコロナ禍が落ち着いてくれなければ、全く先が読めない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が広まり、緊急事態宣言は解除されると予想されるが、企業が在宅勤務を推奨する風潮は定着しているため、来客数は以前の水準には戻らないことが懸念される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染がいつ収束するか、見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数は増えているが、客の雰囲気は緊急事態宣言のなかでもそれほど変化はないため、景気への影響も小さい。今後もコロナ禍なりの、良くない景気が続くと思われ。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減らなければ、客足も伸び悩む。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・コロナ禍は続いているが、店舗が住宅地のなかにあるため、近所の高齢の常連客は変わらず来店している。近場で買物を済ませたいという意識から、さほどコロナ禍に左右されずに営業できている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・しばらくは今の動きが続くと予想される。テレワークも周囲では進んでおらず、近隣企業の客も変わらず来店があり、来客数の変化は感じられない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・景気が上向く兆しは全くみられない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・緊急事態宣言の発出や、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を考えると、まだまだ厳しい。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・例年であれば、秋物商戦で来客数が増える時期となるが、今年は期待できない。ワクチン接種は進みつつあるものの、若い世代で新型コロナウイルスの感染者数が増えている。それに伴い、今までは大人から子供への感染が多かったが、今は家庭内で子供から大人に感染するという話をよく聞く。このまま悪い状況が続くそうである。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されなければ、今後の見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（人事担当）	・巣籠り消費の反動減による影響がなくなるまで、かなりの期間を要する。新様式の生活を象徴するような、新たな商品が出てくることを期待したい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・コロナ禍で消費者の収入が減少している上に、固定資産税や車検費用などの負担、在宅勤務などによる光熱費負担が、家計に大きく影響すると予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が不透明である。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増えているため、消費は積極的に行われない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・ワクチン接種率がどこまで上がり、治療薬の開発がどこまで進むのかは不透明である。先行きに明るい希望が欲しい。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、消費には関心が向かない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期が見通せない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染第5波が収束するか、感染全体が収束するまでは、大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・ワクチン接種の広がりといったプラス要素はみられるが、現状は緊急事態宣言の範囲が拡大するなど、景気が良くなる状況は見込めない。ただし、生活必需品の動きは現状維持が予想される。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・パルスオキシメーターの購入希望の問合せは多数あるものの、今後の入荷状況は不安定であり、安定した受注にはつながらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・まだまだ数か月では、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が長期にわたって続いているため、パンデミックという意識が遠のき、人ごとのようにになっている。飲食店への規制も、もはや意味がなくなっているのではないかと感じる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・今後も大きくは変わらない。政府が更に厳しい措置を執れば、人の流れも変化し、売上は減少する。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・観光業では、コロナ禍が致命的な問題となっている。ワクチンの接種率が上がり、治療法が確立されない限り、今の状態が続くと予想される。1日も早くコロナ禍が収束に向かうよう願っている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が収まらない限り、景気が上向くとは思えない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染が沈静化しなければ、景気の回復は厳しいと予想される。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・東京オリンピック・パラリンピックが終わり、次の目標がみえていない状況のなかで、新型コロナウイルスの感染状況が悪化しているため、移動や旅行に対する消費者の意欲が改善する見込みが立たない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・緊急事態宣言が発出され、外出の自粛モードが続いているが、生活のレベルはこれ以上下げられない状況が続いている。天候要因以外での乗車の動きは余り変わらないため、今後もこの状況が続く。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・少し良くなるかもしれないが、大きくは変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が日常化し、現状の客の減少傾向が、夜間、日中共に恒常的な減少として定着している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右される部分があるため、良くなる見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	観光名所（企画担当）	・いつトンネルを出られるのか、全く先行きが見通せない。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・緊急事態宣言の発出により事業活動の制限が続いている。新型コロナウイルスの感染者数は増加の一途であるため、現時点で将来に明るい見通しを持つことができない。全世代へのワクチン接種の早期実現を願いつつも、それで全てが好転するかについては懐疑的でもある。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・コロナ禍のなか、緊急事態宣言下の場外発売場では、1日の後半レース分が発売できない状況である。ただし、電話やインターネットでの投票が好調であり、目立った売上の減少はみられない。新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、しばらくは現状維持が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大について、ピークアウトの時期が予測できない。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・まず、新型コロナウイルスの感染状況がピークアウトしなければ、消費は回復しようがない。消費者もロックダウンを意識し始めている。

□	その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・大阪では4度目の緊急事態宣言が発出されているが、万全な対策の下で、久しぶりにコンサートが開催された。プロ野球の入場者数は依然として5000人が上限であり、3か月後の状況は不透明であるため、基本的には現状と変わらない。
□	その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・ワクチン接種の進み具合や、その効果により、今後の状況は変わってくる。
□	住宅販売会社 (従業員)	・コロナ禍によって住環境への関心は高まっており、需要も非常に増えているが、供給件数は増えていないため、好調な販売が続くと予想される。
□	その他住宅 [展示場] (従業員)	・大型イベントが開催できないため、住宅展示場への来場者数は減少が続くが、Web対応の強化もあり、各モデルハウスの見学予約客は増えている。今後も一定の契約数は確保できそうである。
▲	一般小売店 [呉服] (店員)	・着付けの際に、どうしても密になるため、新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、回復は無理である。
▲	百貨店 (マネージャー)	・京都市内を中心にワクチン供給が遅れており、2回の接種完了までの見通しが立っていないため、来客数は短期間では戻らない。秋冬物の重衣料の動きは、行楽や外出といった需要に左右される部分もあり、購買意欲が高まる要素は少ないと予想している。
▲	スーパー (企画担当)	・来客数が戻る要素はなく、先行きは不透明である。
▲	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、今まで出歩いていた人も外出を控えると予想される。また、10月の賃金改定で人件費が上がるため、企業側も雇用に対して更にシビアになる。
▲	コンビニ (経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているが、テレワークが増え、ワクチン接種の効果も出てくれば、今後は減少に向かう。ただし、来客数は今の状態が続き、前年比で20%以上減少すると予想される。
▲	コンビニ (店長)	・緊急事態宣言が続くため、今後が見通せない。
▲	衣料品専門店 (営業・販売担当)	・来客数が非常に少なく、売上が減少している。飲食店ばかりではなく、物販店にも金銭的な支援をしてほしい。
▲	家電量販店 (店員)	・インターネット環境の充実により、客の情報収集力が上がる反面、偏った情報による客への影響が大きくなる。そうなれば、店頭販売での購入は価格に左右される傾向が強まると予想される。今後、量販店では情報を正確に発信し、インターネット経由の客への信頼性を上げることが必要になると感じている。
▲	乗用車販売店 (経営者)	・確実に仕事量が減っている。それは同業他社も同じであり、出口が見通せない、不安な状態が続いている。
▲	乗用車販売店 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少しており、車検や販売の予約も増えていない。
▲	乗用車販売店 (販売担当)	・需要はあるものの、半導体不足の影響で車の生産が制限されているため、販売できる車がない。このまま影響が続けば、更に販売台数の減少は続く。
▲	その他専門店 [ドラッグストア] (店員)	・ボーナスの支給時期によく売れていた、化粧品などの売上が前年を下回っている。接客する回数も減っており、クーポンを出しても来客数がなかなか増えないため、やはり新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、収入の減少や節約志向が強まることが予想される。
▲	その他小売 [インターネット通販] (経営者)	・商店街の動きを見ていると、成り行きまかせと感じるほど何も手を打たないため、衰退していく一方である。
▲	一般レストラン (店員)	・新型コロナウイルスの感染者数が減少しない限り、今後の予測ができない。
▲	一般レストラン (企画)	・緊急事態宣言の発出から約3週間が経過したが、新型コロナウイルスの感染者数は増加が続いている。宣言の延長も懸念されるなど、全く先が見通せない状況である。また、緊急事態宣言の対象地域も拡大し、関西全域に広がっていることから、今後は更に悪くなると予測している。
▲	観光型ホテル (客室担当)	・新型コロナウイルスの感染については、若年層のワクチン接種が完了するまでは収束しない。
▲	観光型旅館 (団体役員)	・周囲の府県に加え、当県でも新型コロナウイルスの感染拡大が続いているため、観光客による外出の自粛傾向はやむを得ない。

▲	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の解除後も、しばらくは予約を控える客が多く、直近でのキャンセルも相次いでいる。一方、予約は取りたいが、従業員の感染も心配である。忘年会、新年会の予約は受けているが、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たず、厳しい状況になると予想している。
▲	都市型ホテル（フロント）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染者数が減らないことには、レジャーに伴う利用の回復は見込めない。また、レストランではディナーを休業しているため、非常に厳しい状況が続くと予想される。
▲	通信会社（経営者）	・京都府下での新型コロナウイルスの感染拡大による影響が出る。
▲	通信会社（企画担当）	・まだしばらくは、今の状況が続くと予想される。
▲	テーマパーク（職員）	・世の中の空気が変わるきっかけがなければ、観光や娯楽関連はいつまでも低迷すると危惧している。休日に遊びに出掛けることが当たり前の世の中には、なかなか戻らないと予想されるが、Go Toキャンペーンのような、少しでもそれに近づくような施策が必要だと感じる。
▲	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、暑い時期よりも寒い時期の方が来客数は減少する。
▲	住宅販売会社（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの対策が続くと予想される。
▲	住宅販売会社（総務担当）	・現状維持には、新型コロナウイルスの感染収束の兆しが必要となる。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・金融機関の融資姿勢が厳しくなる。
▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・地方の営業所で新型コロナウイルスの感染者が出てしまい、業務が滞っている。数日後には応援に駆り出されるため、本社の機能にも影響が出ることは間違いない。
▲	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・不動産の用地価格の高騰が続いている。資材価格は既に高騰していたが、更に上昇傾向にある。富裕層や高所得層の動きは引き続き堅調であるものの、市場全体では少しずつ悪化トレンドに転じる可能性が出てきている。
×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増え続ける。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数は、この先増加していくことが予想され、それに伴い経済も停滞していくことになる。感染が落ち着いたかなければ、安心して買物に出ることもできず、不安要素が多いほか、将来に明るい光が見られない。
×	一般小売店〔花〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、外出することを控えており、対面販売にも不安を感じている。感染者数は増えており、更に外出を控えて来店しなくなるため、売上は減少すると予想される。
×	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染状況について、好転するきっかけがつかめない。ワクチン接種だけでなく、治療薬も含めた、感染対策の進展を期待している。
×	百貨店（企画担当）	・前年は夏以降、入店客数、売上共にやや持ち直したが、今年は新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、良くなる要素が見当たらない。
×	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、消費マインドの低下が続く。
×	衣料品専門店（経営者）	・ワクチンを接種しても、新型コロナウイルスの感染者数が増えている以上、年内に景気が回復する見込みは立たない。
×	衣料品専門店（経営者）	・好調といわれている通信販売業界も、卸売業者やメーカーが廃業すれば成り立たなくなる。そうならないように、保護する体制を整えてほしい。
×	衣料品専門店（販売担当）	・新たな新型コロナウイルス変異株の感染者が発生している。市中感染らしく、今後どうなるのかが不安で仕方がない。
×	家電量販店（店員）	・緊急事態宣言により、新型コロナウイルスの感染者数が減少しない限り、景気の悪化は避けられない。若年層へのワクチン接種が急務であり、感染の収束が見込めれば、景気の回復も期待できる。

		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束時期が見通せない以上、今後の景気回復には期待できない。ワクチン接種も若年層の間では広がっていない。今後、持ちこたえられない飲食店やレジャー施設が増えて、経済活動に支障が出ることで、景気は低迷すると予想される。
	×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・恐らく緊急事態宣言は解除されないため、絶望的な売上が続きそうである。また、国の対策として客の動きを減らしているにもかかわらず、食品の卸売業者には何の補償もなく、話題に挙がることもないため、見捨てられたように感じる。
	×	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・ワクチン接種が進んでも、新型コロナウイルス変異株の感染拡大は止まらない。自粛疲れで外出する人がいるかもしれないが、客足も増えそうにない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・政府は気をつけてほしいと要請するだけで、同じような状況が続いている。ロックダウンをするでもなく、要請するだけでは、コロナ禍は収束に向かわない。一時的にでも、しっかりとした感染対策や人流を減らす対策を採らなければ、いつまでもこの状況が続く。このままでは絶対に駄目である。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・コロナ禍が続くなかでは、何も変わらない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・9月以降は元々団体客の占める割合が高いため、個人客がどの程度動くに懸かっている。当地域で発出されている緊急事態宣言も、恐らく9月12日には解除されないため、見通しはかなり厳しい。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束の兆しがないなか、更に緊急事態宣言下においては、観光、旅行業界は、引き続き厳しい状況が続く。
	×	観光型旅館（経営者）	・9月12日で緊急事態宣言は解除できず、また延長されると予想される。秋の需要にはもう期待できない。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・東京オリンピック・パラリンピックで明るい話題が増えているが、新型コロナウイルスの感染拡大による、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用で、更に客足が遠のくと予想される。ワクチン接種の拡大による、感染の抑制に期待している。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・新たな新型コロナウイルス変異株も発見されており、一旦宣言が解除されても、再び感染者数が増えることが予想される。当分良くなるとは考えにくい。
	×	タクシー運転手	・ワクチンの効果はみられるが 現在の対策ではらちが明かない。大阪も、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動を両立させるために、せつかく店舗へのゴールドステッカーの提供を始めたのに、先行きへの展望が感じられない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・客からの発注は伸びているが、新型コロナウイルスの影響で、7月中旬からは海外でのロックダウンが増えた。それに伴い、海外からの商品の入荷が8月上旬で止まってしまった。9月中の再開を期待しているが、予断は許されない。少なくとも、ロックダウンが続く間は売上が極端に落ちそうである。
	◎	電気機械器具製造業（経営者）	・これまで世界では技術革新が進んできたが、限界に直面したような印象を受ける。原子力発電に夢はなくなり、ガソリンエンジン車も制限されつつある。電気自動車への強制的な転換が進む間は、つかのまの好調を満喫できるのか、不安を感じる。
	○	食料品製造業（従業員）	・秋に向けて、家庭用プライベートブランドの新製品の販売がいくつか決まっているため、既存の製品を含め、家庭用製品の販売量は増加が見込まれる。
	○	繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、緊急事態宣言については解除が見込まれる。
	○	化学工業（企画担当）	・年末の食品需要期が近づくほか、ワクチン接種が進み、消費の拡大が再開すると予想される。
	○	金属製品製造業（開発担当）	・受注量が減少していないため、今後は良くなる。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合いの件数が増えてきている。
	○	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・今月は特に落ち込んでいるため、今よりは良くなると予想される。

○	金融業（副支店長）	・ワクチン接種率も徐々に上がってきているため、新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着くと予想され、景気も少し回復してくる。
□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・取引先からは、増産に関する情報がない。
□	化学工業（経営者）	・ワクチン接種率の上昇による、新型コロナウイルスの感染収束を期待したいが、ワクチンを打たない人が一定数以上いる限り、1日に2万～3万人が感染する可能性があり、緊急事態宣言はいつまでたっても解除されることはない。重症化しないワクチン接種者も増えているため、そろそろ報道も日々の感染者数の報道はやめて、重症者数と死者数だけで判断すればよい。緊急事態宣言の解除条件も、重症者数や病床使用率、死者数に変更した方がよいと考えられる。
□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染が拡大するなど、明るい材料はないが、ワクチン接種は進んでいるため、大きな変化はないと予想される。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・既に、前年から景況は最悪の状況であるが、回復の兆しはない。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	・飲食関連はまだまだ上向かないが、それ以外の業種では緩やかな回復傾向が期待できる。
□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束し、緊急事態宣言が解除されなければ、リモートワークは続くため、この状況はまだしばらく続くと予想される。
□	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない状況では、積極的な設備投資には慎重である。建設資材価格の高騰で、今後はより厳しい価格競争が予想される。
□	輸送業（商品管理担当）	・緊急事態宣言が延長され、酒類の販売量が減っているため、景気は良くならない。
□	金融業〔投資運用業〕（代表）	・冬頃までにワクチン接種は完了するため、それ以降は徐々に新型コロナウイルスの感染も落ち着いてくる。その後を追うように経済の回復は始まるが、本格的な回復はやはり年明け以降と予想される。
□	金融業（営業担当）	・コロナ禍による影響は大きく、大阪での新型コロナウイルスの感染者数の増加もあり、業況の改善は厳しい。
□	広告代理店（営業担当）	・まだ回復の時期がみえてこない。
□	広告代理店（営業担当）	・紙媒体、Web媒体共に、広告の受注量は前年を上回っているが、2年前の水準は下回っている。
□	司法書士	・ワクチンの接種が進み、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にならない限り難しい。
□	経営コンサルタント	・売上を回復させている企業は少なく、感覚的には3割程度であり、今後は規模の縮小や倒産が増えていくと予想される。
□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が早く収束しなければ、変わらない。
□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・ワクチン接種が思うように進まないなか、程度の差こそあれ、医療体制のひっ迫は続くことになる。それに伴い、年末にかけても、外出の自粛や各店の営業自粛が続くと予想される。
▲	繊維工業（総務担当）	・ここ2～3か月、靴下の販売状況は急激に悪化した。特にスポーツ用の商品が顕著である。新型コロナウイルスの感染者数の急激な増加によるものであり、ワクチン接種により感染状況が好転しなければ、この状況からの変化は期待できない。
▲	繊維工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が進まなければ、人の動きが活発にならず、催事の集客減少につながる。
▲	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・ワクチン接種が進むとはいえ、新型コロナウイルスの長期的な影響により、受注量の急回復はないと予想される。
▲	化学工業（管理担当）	・自動車メーカーから大幅な減産が発表されており、今後は受注量が減少すると予想される。
▲	プラスチック製品製造業（経営者）	・仕事を作り出そうとする動きはひしひしと感じるが、社会全体として消費意欲が低く、製品化につながらないように感じる。一方、以前から各社は不良率の低減に力を入れており、支出をいかに減らすかに重きを置いている。こういった部分も、売上が伸びない結果につながっていると感じる。

	▲	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、半導体などの海外からの部品が入荷不足となっている。自動車各社の9月以降の減産による関連部品の減少もあり、一時的に在庫調整が起きる可能性もある。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えているため、今後どうなるかは分からない。
	▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染第5波に対し、緊急事態宣言が発出された。対象範囲が拡大中であり、感染の収束もみえないため、影響はまだまだ長期化すると予想される。
	▲	建設業（経営者）	・これ以上外出自粛が続けば、営業活動に支障を来す恐れがある。消費マインドの低下も懸念される。
	▲	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で客が減っているほか、感染者数も増え、配達が先送りになるケースが多くなっている。
	▲	輸送業（営業担当）	・海外生産の一部を国内生産に変えた、電子部品関係の工場からの荷物は増えたが、それ以外の工場では減産が続いている。
	▲	通信業（管理担当）	・景気の良くなる要素が見当たらない。
	▲	経営コンサルタント	・良くなる兆候や良い材料が見当たらない。新型コロナウイルスの影響に加え、政府の対策の内容や、スピードの改善もみられない。
	▲	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、先行きが全く見通せず、状況は悪化する一方である。
	▲	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・緊急事態宣言の解除時期やワクチン接種後の状況が見通せない。現時点では、人流を抑える方針が続くように感じる。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・鋼材価格の更なる値上がりが見込まれ、一段と採算が厳しくなる。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、今後も事務所や店舗の解約が続く。それに伴い、将来の景気もまだまだ悪化していく。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せない。
雇用 関連	◎	人材派遣会社（支店長）	・下期に向けて、かなり上向くことが予想される。
(近畿)	○	人材派遣会社（営業担当）	・ワクチン接種が進み、企業の間でも増員などの話が出てきている。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、今後も各種書類の審査やワクチン接種の受付といった、特需による求人が入ってくる。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・新卒採用市場では、2～3か月単位で景気の動向が変わることは少ないが、10～11月は次年度の採用を見据えた、冬季インターンシップや業界研究イベントに向けた広報のタイミングとなる。次年度の採用を予定している企業からの、問合せや依頼が増える時期になると予想される。
	□	人材派遣会社（経営者）	・今後の景気動向は、新型コロナウイルスの感染収束次第である。各社はここへきて相当慎重になっており、新規採用はギリギリまで試行錯誤が続くことが予想される。そうなれば派遣会社の出番となり、人材は集めやすくなる。
	□	人材派遣会社（役員）	・ワクチン接種者が増えても、新型コロナウイルスの感染者数が増え続けている。感染対策を経済重視に転換しない限り、景気の回復は遅れる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・ワクチン接種以外の、政府の具体的な景気対策がない。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・ワクチン接種が進んでおり、今後新型コロナウイルスの感染が収束する可能性も出てきたが、この2～3か月で変化があるとは考えにくい。
	□	職業安定所（職員）	・求人は底堅く推移しているが、求職については、ワクチンの接種を終えて活動を再開する人と、新型コロナウイルスの感染を心配して活動を見送る人がみられ、全体的には不安定になっている。
	□	職業安定所（職員）	・ハローワークの窓口では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、しばらく求職活動は様子を見たいという声や、ワクチン接種後に積極的に活動したいといった声が多い。一方、緊急事態宣言の対象地域以外の店舗では、募集を掛けても全く応募がなく、アフターコロナの人手不足が懸念されるといった、飲食チェーンからの声もある。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルス変異株への対応次第で、状況は左右される。

□	学校 [大学] (就職担当)	・ワクチンの接種状況に加え、新型コロナウイルスの感染収束がみられなければ、景気が良くなるとは思えない。
▲	新聞社 [求人広告] (管理担当)	・緊急事態宣言が発出されても人流が減少しておらず、効果的とはいえない。政府の施策も後手に回っており、成果が全く出ていない。感染力の強い、新型コロナウイルス変異株の感染拡大は今後も続くと考えられ、ワクチンの接種も遅れている。景気が良くなる気配は全くなく、国内のワクチン接種者数が欧米並みになると予想される11月頃までは、景気の悪化が予想される。
▲	職業安定所 (職員)	・6月以降の特徴として、求職活動はワクチンを接種してからという傾向が顕著であったが、最近は接種をしても不安が強く、当分は求職活動も控えたいという動きが強まりつつある。それに伴い、企業も人材の確保が難しくなり、経済活動にも影響が出てくる。
×	新聞社 [求人広告] (担当者)	・東京オリンピック・パラリンピックの終了後も、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立たない状況では、回復の兆しが全くみられない。
×	学校 [大学] (就職担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、先行きも不透明なため、景気の減速による求人数の減少が懸念される。